

令和元年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	07 スポーツ - スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します -		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	浦谷 健二	
		評価日	令和2年7月3日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、公園・緑地課、学校教育課			
目標	全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティづくりを推進します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 子どものスポーツ機会の充実 ○乳幼児期からの発達段階に応じて子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。</p> <p>(2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 ○障がいのある人や、高齢者をはじめとする全ての市民へのスポーツ機会の充実と環境づくりを進めます。</p> <p>(3) 地域スポーツにおける人材の育成 ○ジュニア・アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者、ボランティアの育成、技術力向上を図ります。</p> <p>(4) 安全なスポーツ環境の整備促進 ○スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上を図ります。 ○既存施設の有効活用、利便性の向上などスポーツ環境の整備を図ります。</p>			

2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標1	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合					
		説明	スポーツを通して健康づくり、体力づくりを行う市民の割合を把握することで、本市のスポーツの促進度を計る。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	-	43.25	46.28	49.31	52.34	55.40
		実績値	45.20	30.90				
	指標2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数					
		説明	障がい者がスポーツに親しめる機会の必要性をスポーツ事業への参加者数で計る。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160	190	220	250	280	300
		実績値	162	95				
	指標3	指標名	スポーツ施設利用者の満足度					
		説明	市民ニーズを把握するとともに、市民サービスの向上を図る指標とする。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	64.00	67.50	71.00	74.50	78.00	80.00
		実績値	55.40	50.10				
	指標4	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数					
		説明	自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行う団体の数を基に、身近な場所での運動機会の促進度を計るため令和2年度より策定。					
単位		人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	0	13	15	17	19	
	実績値	8	11					
指標5	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数						
	説明	幅広い年代が参加できる競技スポーツイベントの必要性を新春ロードレース大会の申込者数で計る。						
	単位	人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	
	実績値	1,912	1,897					

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	609,369	79,536	79,940			
	人件費	26,718	37,355	37,355			
収入	特定財源	559,149	17,709	13,461			
	一般財源	76,938	99,182	103,834			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	元気・健康フェア	元気・健康都市宣言の啓発を効果的に推進するとともに、市民の健康づくりをさらに高めていくことで、子どもから大人までの幅広い世代で、健常者と障がい者が一緒になって気軽に・楽しく・簡単に体力づくりや健康づくりのための体験型イベントを開催した。	ふじみ野市出身の小林よしひささんをお招きし、キッズエクササイズを開催した他、スポーツ吹矢やパラスポーツであるポッチャ・フロアカーリングなどの体験を実施し、691人が参加した。障がい者がスポーツに接する機会と自ら楽しめる機会を提供した。	スポーツ推進事業
取組	新春ロードレース大会	毎年1月に、市役所周辺特設コースにて19部門11レースを、どなたでも参加できるコミュニティ・スポーツ振興の場として開催。	親子レース・2・3・5・10km 参加者1,763人 (申込者1,897人) (内 障がい者7人 伴走者7人) 小学生から壮年まで幅広い年齢層が一堂に会し、親子も参加できるコミュニティ・スポーツとして定着している。	スポーツ大会事業
取組	安全なスポーツ環境の整備促進	スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上。 既存施設の有効活用、老朽化の改善、利便性の向上などスポーツ環境の整備。	2日間のスポーツ指導者講習会には、105人が参加し、リスクマネジメントと準備・整理運動について学んだ。 施設環境の改善による利用率の向上。 近的・遠的を兼ね備えた弓道場の整備やナイター施設を完備したテニスコートの設置、駒林体育館女子トイレの洋式化。	スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業
取組	ラジオ体操事業	イオンや自治組織と連携し、様々な場所でラジオ体操を促進することで、より身近な場所での運動機会を提供。	イオンdeラジオ体操は10日間で1,725人、自治組織ラジオ体操では、11団体が実施し、延べ4,733人が参加した。	スポーツ推進事業
取組	地域派遣事業	市内小中学校や自治組織及び地域団体等にスポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツ(ポッチャ等)の普及を進めている。	派遣回数：31回 うちポッチャの派遣回数：14回 スポーツ推進委員の派遣を行うことで、市のスポーツ事業のみならず、多くの場所でスポーツの普及を行うことができる。	スポーツ推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	平成28年度から平成30年度まで積極的なスポーツ施設の基盤整備を計画的に進め、リニューアルした施設で様々な事業を展開し、周知・利用促進に努めた。今後も、整備した施設を多くの人に知っていただき、利用いただくよう、全ての人々が住みなれた「ふじみ野」で継続してスポーツに親しめるような事業展開を図っていく。
行政資源の活用	スポーツ推進計画の基本方針である「夢のある心豊かな子供の育成」「誰もがいつまでも親しめる生涯スポーツの推進」「ふじみ野から未来にはばたく人材の育成」に基づき、ソフト事業では、新春ロードレース大会や元気・健康フェアなど様々な事業を展開した。さらに、学校、自治組織など、どこでもラジオ体操の指導が行えるようラジオ体操指導員の資格をスポーツ推進委員21名が取得した。
取組の有効性	パラスポーツについては「ポッチャ」に力を入れ、市のスポーツ事業のみならず、小学校での授業、自治組織単位での取組にスポーツ推進委員を派遣することで、多くの機会を創出することができた。
おおむね有効	今後については、従来から行っている事業を計画的に進めるほか、令和3年に開催が予定されている、オリンピック・パラリンピックに向けた事業展開を図り、スポーツを通じた健康の増進と地域の活性化につなげる。
施策の効果	
効果が得られている	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	07 スポーツ -スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します-		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度~	評価日	令和2年7月3日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法			
事務事業の内容	事務事業の目的	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き活きとした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。		
	事務事業の経緯	スポーツ基本法第4条の規定(地方公共団体の義務(自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。))及び将来構想「元気・健康づくりプロジェクト」並びにふじみ野市スポーツ推進計画に基づき、事業を実施している。令和元年度から、既存の「スポーツ推進事業」に「スポーツ団体支援事業」「人間地区社会体育推進事業」「ラジオ体操普及事業」を統合。		
	事務事業の概要	スポーツを通じた健康づくりの推進やスポーツの楽しさに触れる機会の提供として、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を開催するとともに、自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行うことで、身近な場所での運動機会を提供している。市のスポーツ振興を図るため、スポーツ団体の育成に取り組む母体への支援を行う。さらに、スポーツで活躍している市民に対し、交通費及び宿泊費の一部を補助している。		
	令和元年度の主な取組	スポーツ事業の主な取り組み 1元気・健康フェア 2シニア元気塾 3スポーツカレッジ2019(レクダンス、インディアカ)4スポーツ指導者講習会 5スキルアップ教室 6ノルディック・ウォーク教室 7スポーツ推進委員地域派遣事業 8市外プール利用補助券交付事業 9人間東部地区駅伝競走大会 10イオンラジオ体操 11自治組織向けラジオ体操の支援 スポーツ団体支援の主な取り組み 1体育協会育成事業 2スポーツ少年団育成事業 3選手派遣費補助事業		

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	1.70	1.70
		人件費	7,287	13,563	13,563
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.30	0.30
		人件費	0	1,154	1,154
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	7,287	14,717	14,717	
事業費	報酬	1,846	1,623	99	
	賃金	0	0	0	
	需用費	1,809	425	1,856	
	委託料	250	338	250	
	使用料及び賃借料	139	54	192	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	576	8,334	16,863	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	555	788	2,577	
	支出合計	12,461	26,279	36,554	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	20	3,903
	一般財源	12,461	26,259	32,651	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		109	230	281	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ラジオ体操参加人数		
	説明	目標値：市の主催もしくは自治組織と連携して実施したラジオ体操の参加人数 昨年度より実施自治組織が増加したことにより参加人数が増加。 平成30年度：8自治組織 令和元年度：11自治組織		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	6,000	6,500	7,000
	実績値	6,044	6,458	
指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数		
	説明	目標値：令和5年度の目標（300人）を達成するために、段階的に参加者を増やす。（対象「元気・健康フェア、スポーツ推進委員派遣事業、新春ロードレース大会」）		
成果	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	190	220
	実績値	162	95	
指標 3	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合		
	説明	目標値：前年5%増（スポーツ推進計画策定時に設定） 実績値：指定管理者による有料スポーツ施設を利用いただいた方へ無作為に実施した利用者満足度調査に基づく。アンケート回答者は市民の309人		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	41.90	44.60	47.30
	実績値	45.20	30.90	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	実施内容
	<p>1. 元気・健康フェア (1) 実施：1回 (2) 参加人数：691人</p> <p>2. シニア元気塾 (1) 実施：前期・後期各4回 (2) 参加人数：延べ185人</p> <p>3. スポーツカレッジ2019（レクダンス、インディアカ） (1) 実施：各種目3回 (2) 参加人数：延べ93人</p> <p>4. スポーツ指導者講習会（リスクマネジメント、準備・整理運動） (1) 実施：各1回 (2) 参加人数：延べ105人</p> <p>5. スキルアップ教室（コロナウイルスの影響により中止）</p> <p>6. ノルディックウォーク教室（コロナウイルスの影響により中止）</p> <p>7. スポーツ推進委員地域派遣事業 (1) 派遣回数：31回</p> <p>8. 市外プール利用補助券交付事業 (1) 実施：1回 (2) 使用枚数 / 配布枚数：1,870枚 / 9,080枚</p> <p>9. 第51回入間東部地区駅伝競走大会 (1) 実施：令和2年2月16日（日） (2) 参加チーム数：82チーム（応募86チーム） 【一般の部】68チーム 【壮年の部】7チーム 【女子の部】7チーム</p> <p>10. イオンラジオ体操 (1) 実施：10日間（7月23日～8月4日） (2) 参加人数：延べ1,725人</p> <p>11. 自治組織向けラジオ体操の支援 (1) 実施自治組織数：11自治体 (2) 参加人数：延べ4,733人</p>
	効果
	<p>スポーツを通じた健康づくりの推進やスポーツの楽しさに触れる機会を提供することにより、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加でき、健康推進のほかコミュニティづくりにも貢献している。自治組織向けのラジオ体操は実施自治組織数が年々増加しており、地域のスポーツ振興の取り組みにも寄与している。</p> <p>スポーツ団体支援 1体育協会育成事業 2スポーツ少年団育成事業 3選手派遣費補助事業</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	東西のスポーツ施設が整備され、新たなフィールドで今まで以上に多様なスポーツ事業の展開を行う。スポーツ事業の展開を進める中で、専門性、多様性なども検討しながら、幅広い世代を対象としたスポーツ事業の開催をしていく必要がある。さらに、障がいのある方もない方も一緒に参加できるイベントの開催も進めていく。ラジオ体操においては、身近な場所で手軽に運動する機会場の場として今後も広く推進していく。
中長期的方向性	
継続	

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ大会事業		前年度の方向性	継続
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	07 スポーツ -スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します-		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和43年度~	評価日	令和2年7月3日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法			
事務事業の内容	事務事業の目的	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。		
	事務事業の経緯	令和元年度から、「新春ロードレース大会事業」「市民スポーツフェスティバル事業」「市民スポーツ大会事業」を統合し、「スポーツ大会事業」となり、継続して当該事業を行う。		
	事務事業の概要	「新春ロードレース大会」は、毎年1月に開催し、老若男女問わず参加することができ、申込者数1,800人を超える市内最大のスポーツ大会である。平成26年度から市主催から実行委員方式へ移行して実施している。 「市民スポーツフェスティバル」は、毎年10月から11月に、自治組織連合会を中心とした東地域と西地域の実行委員会に事業委託をし、地域スポーツの祭典として、開催している。 「市民スポーツ大会」は、毎年8月から翌年3月までの間に、ふじみ野市体育協会主催で、さまざまな競技スポーツを市民が自ら運営する大会である。		
	令和元年度の主な取組	新春ロードレース大会では、警察との協議にて、前年同様254バイパス出入口から東大久保の交差点間で車両通行止めを実施。また、監察員を増員し、滝交差点付近でも迂回協力することで安全性の確保と事業内容の充実を図った。コースレイアウトを一部変更し、今年度新設した、ふじみ野市第2運動公園内もコースに組みPRを図った。 市民スポーツフェスティバルでは、東地域（上野台小学校1か所）、西地域（鶴ヶ丘小学校、亀久保小学校、大井小学校、西原小学校、三角小学校、東台小学校の6か所）で計画し、大型台風の影響で、東地域並びに亀久保小学校ブロックの開催を中止にした。 市民スポーツ大会では、20種目の競技を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.30	1.30
		人件費	8,096	10,372	10,372
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.30	0.30
		人件費	0	1,154	1,154
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	8,096	11,526	11,526	
事業費	報酬	238	231	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	4,789	9,981	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	735	737	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	205	195	529	
	支出合計	9,274	17,478	22,036	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	7,792
		その他	0	0	0
	一般財源	9,274	17,478	14,244	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		81	153	123	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	新春ロードレース大会参加申込者数		
	説明	目標値：申込定員数に対し100%の人数 申込時充足率（部門別）10km：116.6% 5km：93.2% 3km：90.6% 2km：77.6% 親子：109.3%		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,960	1,960	1,960
	実績値	1,912	1,897	
指標	指標名	市民スポーツフェスティバル参加者人数		
	説明	目標値：前年度実績10%増 令和元年度の実績値は、10月13日（日）に開催を予定していた東地域市民スポーツフェスティバル及び亀久保小学校ブロックスポーツフェスティバルが台風19号の影響で中止となったため、大幅減となっている。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4,598	4,981	5,479
	実績値	4,528	1,597	
指標	指標名	市民スポーツ大会の目標参加者数に対する参加者数		
	説明	目標値：前年度実績1%増（大会参加者数）		
成果	単位	人/年		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	4,524	4,292	4,168
	実績値	4,250	4,127	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>1. ふじみ野市新春ロードレース大会 ○事業内容 本事業は、実行委員会が組織され、第15回大会は、前大会同様に令和2年1月19日（日）市役所周辺特設コースにて、開催した。ふじみ野市第2運動公園の整備完了に伴い一部コースの変更及び消費税率改定に伴った大会参加費の改定を行い運営された。また、スポーツ施設の指定管理者の提案と大東文化大学との地域包括連携協定を活用し、招待選手として、ト部蘭選手、大東文化大学陸上競技部2名により、トップランナーと触れ合う機会を創出した。当日は、老若男女計1,766人（ゲストランナー3名含む）のランナーが参加し、参加者全員完走した。 ○効果 小学生から壮年まで幅広い年齢層が一堂に会し、親子でも参加できるコミュニティ・スポーツとして、また市民の日頃からの練習成果を発揮する機会となっている。</p>
	<p>2. 市民スポーツフェスティバル ○事業内容 東地域の開催は、前年と同じく1か所、西地域は、より多くの地域の市民の参加を見込み6か所での開催を計画したが、台風の影響で10月13日（日）開催の東地域並びに亀久保小学校ブロックの開催を中止した。その他、西地域の5か所は無事に開催され、合計1,597人が軽スポーツや運動会形式のスポーツを楽しんだ。自治組織連合会を中心とした実行委員会に事業委託をしている。 ○効果 町会・自治会・町内会が多く参加し、地域住民がスポーツを通じてふれあう機会を提供することで、コミュニティ形成と健康増進が図れる。</p>
	<p>3. 市民スポーツ大会 ○事業内容 体育協会に事業委託をし、市民がスポーツ大会の運営に関わることのできる大会である。8月の総合開会式を皮切りに、8月から翌3月にかけて加盟団体の競技種目全20種目の大会が開催した。 ○効果 日頃親しんでいるスポーツの成果を確認でき、今後のスポーツへのモチベーションにつながっている。また、大会運営を市民が行うことにより、協働のまちづくりにつなげている。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	1. 新春ロードレース大会 指定管理者と連携を図り、大会をさらに盛り上げるイベントを計画することで、参加者増を目指す。また、コース周辺の商業施設建設に際し、道路状況の変化に対応し、関係機関と協力し、安全な大会運営に努める。
中長期的方向性	2. 市民スポーツフェスティバル 「オールふじみ野市民スポーツフェスティバル」としてふじみ野市第2運動公園で開催し、競技に参加する市民や応援する市民等が会場のどこにいても楽しめる競技内容、イベントの計画に努める。
拡充	3. 市民スポーツ大会 関係機関と協力体制を築き、スポーツへの参加を啓発し、参加者の拡充に努めるとともに、市外からの参加チーム制限の緩和等検討していく。

令和元年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ~うるおいのある豊かなまち~		
	施策	07 スポーツ -スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します-		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	昭和50年度~	評価日	令和2年7月3日	
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、学校体育施設の開放に関する規則、学校体育施設開放運営委員会要綱、学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例、施行規則・ふじみ野市立スポーツセンター条例、施行規則			
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。		
	事務事業の経緯	平成23年度に指定管理者の公募を行い、平成24年4月1日~令和2年3月31日まで第2期目の指定管理制度を活用。(アイル・オーエンスグループ) 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出している。		
	事務事業の概要	平成24年度より指定管理者制度により(運動公園等含む)管理を移行し現在に至る。毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。 聖路加テニスコート、ゲートボール場等は、定期的に巡回を行っている。 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放。毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに置かれ設置している学校体育施設開放運営委員会で学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。		
	令和元年度の主な取組	スポーツ施設の拡大・拡充に合わせ多彩なスポーツ事業を展開することで、幼児から高齢者、障がいのある方まで、多様なライフステージに対応するだれもが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供していきます。また、利用に関する情報をまとめた「利用の手引」を作成し、利用者への案内に活用します。また、ホームページにも定期的に情報を掲載します。 学校体育施設に関する管理の運営は、各学校毎に学校体育施設開放運営委員会を組織し実施した。また、運動場夜間照明施設(大井東中学校及び韮原中学校)については、公共施設予約システムにおいて予約を受け付け、申請及び料金の納入を文化・スポーツ振興課で実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.40	1.20	1.20
		人件費	11,335	9,574	9,574
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.40	0.40
		人件費	0	1,538	1,538
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	11,335	11,112	11,112	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	290	9,925	1,128	
	委託料	59,163	46,741	46,123	
	使用料及び賃借料	4,619	8	0	
	工事請負費	489,902	5,159	0	
	負担金、補助及び交付金	10	10	10	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	49,034	179	332	
	支出合計	614,352	73,134	58,705	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	74,576	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	12,440	1,286
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	395,600	0	0
		基金	88,973	5,159	0
		その他	0	90	480
	一般財源	55,203	55,445	56,939	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		483	485	490	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	施設延べ利用者（スポーツ施設）		
	説明	目標値：前年比2%増		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	107,778	109,933	112,131
	実績値	90,854	101,920	
指標	指標名	利用コマ数（スポーツ施設）		
	説明	目標値：前年比2%増 平成30年10月大規模改修工事終了に伴い、令和元年度の利用コマ数が増加している。 弓道場：平成30年11月より利用開始 テニスコート：平成30年6月から11月まで改修工事により利用停止		
活動	単位	コマ		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	19,139	19,521	19,911
	実績値	14,914	24,709	
指標	指標名	スポーツ施設利用者満足度		
	説明	市民ニーズを把握するとともに、市民サービスの向上を図る指標とする。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	64.00	67.50	71.00
	実績値	55.40	50.10	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	内容
	<p>施設整備 総合体育館バスケットゴール修繕・弓道場防矢ネット修繕・台風19号による弓道場シャッター及び支柱修繕。上野台体育館自動ドア部品交換修繕。駒林体育館女子トイレ漏水修繕（洋式化）。亀久保小グラウンド物置屋根修繕。韋原中学校夜間照明設備修繕。</p> <p>効果 利用に関する基準の整備や安全対策を講じるなど、だれもが安全、安心、快適に施設を利用するための管理運営体制を再構築し、市民一人ひとりに合わせた健康づくりに貢献。</p> <p>実施内容 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出しを行うため、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに置かれている学校体育施設開放運営委員会で、学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。 運動場夜間照明施設（大井東中学校及び韋原中学校）については、公共施設予約システムにおいて予約を受け付けて、申請及び料金の納入を文化・スポーツ振興課で実施した。</p> <p>効果 幼児から高齢者、障がいのある方など、市民のスポーツ推進を図る上で、地域でスポーツ活動ができる場所の提供として欠かせない事業である。 スポーツ施設等については、一体的管理運営のもと、安全・安心を第一とした管理運営は基より全世代に向けた多彩な事業を展開することにより、市民一人ひとりに合わせた健康づくりに貢献する。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成29年度に総合体育館の整備が完了し、平成30年度には、テニスコートをクレートコートから砂入り人工芝へリニューアルし、アーチェリーも兼用できる遠的を備えた弓道場を新たに整備したことにより、スポーツゾーンの整備が完了した。今後は、これらのフィールドを存分にご活用いただき、併せて、誰もが住み慣れた地域で継続してスポーツに親しめるよう、市を始めとした体育協会、指定管理者等による多種多様な自主事業の実施が必要である。2020年オリンピックイヤーとなるため、スポーツを通じた健康の増進と地域の活性化をより一層進めていく。（オリンピックは2021年に延期）
中長期的方向性	令和元年度 学校体育施設開放事業を統合
継続	毎月実施している学校体育施設開放運営委員会において、各学校開放委員長に利用公平性の確保について周知徹底をしている事業である。また、安全な状態でスポーツが推進できるよう努め、引き続き、施設利用率が伸びるよう、更に市民のスポーツの推進を図る。